平成 29 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　高知県　　総務省

ー 目次 ー

市町村・組合名	病院名	ページ
-	あき総合病院	2
-	幡多けんみん病院	3
土佐市	土佐市民病院	4
四万十市	市民病院	5
本山町	嶺北中央病院	6
いの町	いの町立国民健康保険仁淀病院	7
佐川町	高北国保病院	8
梼原町	国保梼原病院	9
大月町	国保大月病院	10
高知県・高知市病院企業団	高知医療センター	11

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	高知県
市町村・組合名	
病院名	あき総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,771 ㎡	指定病院の状況	救臨　へ災　輪
診療科数	23	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	175	92.0	85.4	85.4
療養	-	-	-	-
結核	5	21.2	15.2	4.7
精神	90	87.0	86.0	88.2
感染症	-	-	-	-
計	270	89.1	84.3	84.8
平均在院日数（一般病床のみ）		17.9	17.0	15.9

設立団体の状況

人口 (人)		728,276
決算規模 (千円)		460,710,254
標準財政規模 (千円)		266,413,223
財政力指数		0.26847
経常収支比率 (%)		97.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.3
	将来負担比率 (%)	171.0

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	76.4
修正医業収支金額 (千円)	4,100,419

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,292,996	1,333,680
資本勘定繰入	431,641	575,281
計	1,724,637	1,908,961

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	113.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,889,384			
1 経常収益	5,879,204			
(1) 医業収益	4,265,039			
① 入院収益	2,862,324			
② 外来収益	1,158,252			
診療収入計	4,020,576			
③ その他医業収益	244,463			
(うち他会計負担金)	164,620			
(2) 医業外収益	1,614,165			
(うち国・都道府県補助金)	15,381			
(うち他会計補助・負担金)	1,169,060			
(うち長期前受金戻入)	407,932			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,180			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,876,094			
2 経常費用	5,827,598			
(1) 医業費用	5,370,515			
① 職員給与費	2,828,673	66.3	55.9	59.2
② 材料費	765,508	17.9	24.0	19.6
(うち薬品費)	391,180	9.2	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	374,307	8.8	11.1	9.2
③ 減価償却費	641,680	15.0	9.2	10.4
④ 経費	1,109,389	26.0	23.2	27.3
(うち委託料)	714,767	16.8	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	23,644			
⑥ 資産減耗費	1,621			
(2) 医業外費用	457,083			
(うち支払利息)	112,711	2.6	1.7	1.8
(3) 特別損失	48,496			
損益 経常損益	51,606			
損益 純損益	13,290			
累積欠損金	8,464,454			
経常収支比率	100.9		98.0	96.1
医業収支比率	79.4		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.7		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	31.3		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	22.6		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	78.0		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	25,580,283
1 固定資産	20,297,000
(1) 有形固定資産	19,533,110
(2) 無形固定資産	10,667
(3) 投資その他の資産	753,223
2 流動資産	5,283,283
(1) 現金及び預金	3,376,841
(2) 未収金及び未収収益	1,762,613
(3) 貸倒引当金 (△)	1,592
(4) 貯蔵品	145,421
3 繰延資産	-
負債合計	27,412,563
1 固定負債	20,599,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,011,631
(2) その他の企業債	135,650
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	3,515,775
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,936,054
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,418,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,996,909
(2) その他の企業債	67,825
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	421,084
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	861,708
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,394,708
(1) 長期前受金	11,779,231
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	8,384,523
資本合計	-1,832,280
1 資本金	9,073,996
2 剰余金	-10,906,276
(1) 資本剰余金	1,023,943
(2) 利益剰余金	-11,930,219
負債・資本合計	25,580,283
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	1,832,280
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	高知県
市町村・組合名	
病院名	幡多けんみん病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,023 ㎡	指定病院の状況	救臨が感へ災　輪
診療科数	18	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	324	70.9	68.6	71.0
療養	-	-	-	-
結核	28	1.5	2.5	3.6
精神	-	-	-	-
感染症	3	-	-	-
計	355	64.9	62.8	65.0
平均在院日数（一般病床のみ）		13.4	13.4	12.7

設立団体の状況

人口 (人)		728,276
決算規模 (千円)		460,710,254
標準財政規模 (千円)		266,413,223
財政力指数		0.26847
経常収支比率 (%)		97.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.3
	将来負担比率 (%)	171.0

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	82.1
修正医業収支金額 (千円)	6,140,663

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,271,247	1,340,160
資本勘定繰入	723,180	930,087
計	1,994,427	2,270,247

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	113.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,036,118			
1 経常収益	8,019,460			
(1) 医業収益	6,284,203			
① 入院収益	4,337,802			
② 外来収益	1,629,764			
診療収入計	5,967,566			
③ その他医業収益	316,637			
(うち他会計負担金)	143,540			
(2) 医業外収益	1,735,257			
(うち国・都道府県補助金)	18,492			
(うち他会計補助・負担金)	1,196,620			
(うち長期前受金戻入)	496,642			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	16,658			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,220,205			
2 経常費用	8,175,056			
(1) 医業費用	7,482,686			
① 職員給与費	3,854,742	61.3	55.9	56.9
② 材料費	1,361,202	21.7	24.0	24.2
(うち薬品費)	706,846	11.2	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	654,162	10.4	11.1	11.7
③ 減価償却費	747,972	11.9	9.2	9.5
④ 経費	1,470,546	23.4	23.2	21.8
(うち委託料)	949,117	15.1	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	38,720			
⑥ 資産減耗費	9,504			
(2) 医業外費用	692,370			
(うち支払利息)	170,564	2.7	1.7	1.8
(3) 特別損失	45,149			
損益 経常損益	-155,596			
損益 純損益	-184,087			
累積欠損金	3,465,765			
経常収支比率	98.1		98.0	96.3
医業収支比率	84.0		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.7		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	21.3		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	16.7		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	81.7		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	25,580,283
1 固定資産	20,297,000
(1) 有形固定資産	19,533,110
(2) 無形固定資産	10,667
(3) 投資その他の資産	753,223
2 流動資産	5,283,283
(1) 現金及び預金	3,376,841
(2) 未収金及び未収収益	1,762,613
(3) 貸倒引当金 (△)	1,592
(4) 貯蔵品	145,421
3 繰延資産	-
負債合計	27,412,563
1 固定負債	20,599,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,011,631
(2) その他の企業債	135,650
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	3,515,775
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,936,054
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,418,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,996,909
(2) その他の企業債	67,825
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	421,084
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	861,708
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,394,708
(1) 長期前受金	11,779,231
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	8,384,523
資本合計	-1,832,280
1 資本金	9,073,996
2 剰余金	-10,906,276
(1) 資本剰余金	1,023,943
(2) 利益剰余金	-11,930,219
負債・資本合計	25,580,283
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	1,832,280
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	高知県
市町村・組合名	土佐市
病院名	土佐市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,146 ㎡	指定病院の状況	救臨　災
診療科数	25	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	150	86.8	78.5	77.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	86.8	78.5	77.3
平均在院日数（一般病床のみ）		17.7	16.7	16.6

設立団体の状況

人口 (人)		27,038
決算規模 (千円)		16,920,151
標準財政規模 (千円)		7,457,375
財政力指数		0.38
経常収支比率 (%)		88.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	11.9
	将来負担比率 (%)	62.4

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	98.3
修正医業収支金額 (千円)	3,013,411

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	144,338	144,338
資本勘定繰入	120,513	120,513
計	264,851	264,851

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	21.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,318,168			
1 経常収益	3,318,168			
(1) 医業収益	3,121,018			
① 入院収益	1,815,548			
② 外来収益	1,099,570			
診療収入計	2,915,118			
③ その他医業収益	205,900			
(うち他会計負担金)	107,607			
(2) 医業外収益	197,150			
(うち国・都道府県補助金)	16,165			
(うち他会計補助・負担金)	36,731			
(うち長期前受金戻入)	122,318			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,139,008			
2 経常費用	3,138,877			
(1) 医業費用	3,064,684			
① 職員給与費	1,805,940	57.9	55.9	59.8
② 材料費	404,421	13.0	24.0	17.7
(うち薬品費)	194,697	6.2	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	209,724	6.7	11.1	8.0
③ 減価償却費	231,044	7.4	9.2	10.4
④ 経費	613,021	19.6	23.2	31.2
(うち委託料)	234,362	7.5	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	7,415			
⑥ 資産減耗費	2,843			
(2) 医業外費用	74,193			
(うち支払利息)	59,007	1.9	1.7	1.8
(3) 特別損失	131			
損益 経常損益	179,291			
損益 純損益	179,160			
累積欠損金	681,042			
経常収支比率	105.7		98.0	96.3
医業収支比率	101.8		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.3		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	4.6		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	4.3		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	101.1		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	6,620,726
1 固定資産	4,069,557
(1) 有形固定資産	4,068,896
(2) 無形固定資産	661
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,551,169
(1) 現金及び預金	2,013,074
(2) 未収金及び未収収益	515,660
(3) 貸倒引当金 (△)	368
(4) 貯蔵品	21,803
3 繰延資産	-
負債合計	4,327,140
1 固定負債	3,806,762
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,904,826
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	901,936
(7) リース債務	-
2 流動負債	510,101
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	229,376
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	102,927
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	176,798
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,277
(1) 長期前受金	434,691
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	424,414
資本合計	2,293,586
1 資本金	2,970,724
2 剰余金	-677,138
(1) 資本剰余金	3,904
(2) 利益剰余金	-681,042
負債・資本合計	6,620,726
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	高知県
市町村・組合名	四万十市
病院名	市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	11,392 ㎡	指定病院の状況	輪
診療科数	9	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	99	69.3	66.9	78.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	69.3	66.9	78.5
平均在院日数（一般病床のみ）		21.9	18.5	19.6

設立団体の状況

人口 (人)		34,313
決算規模 (千円)		21,903,164
標準財政規模 (千円)		11,829,861
財政力指数		0.34
経常収支比率 (%)		93.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	11.1
	将来負担比率 (%)	127.4

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	93.5
修正医業収支金額 (千円)	1,578,821

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	128,707	145,271
資本勘定繰入	63,115	148,455
計	191,822	293,726

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	154.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,782,681			
１ 経常収益	1,782,681			
（1）医業収益	1,578,821			
① 入院収益	858,605			
② 外来収益	675,023			
診療収入計	1,533,628			
③ その他医業収益	45,193			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	203,860			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	145,271			
（うち長期前受金戻入）	51,836			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,757,802			
２ 経常費用	1,757,802			
（1）医業費用	1,688,704			
① 職員給与費	967,564	61.3	55.9	69.4
② 材料費	255,588	16.2	24.0	17.1
（うち薬品費）	154,838	9.8	12.4	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	99,674	6.3	11.1	5.8
③ 減価償却費	131,235	8.3	9.2	11.6
④ 経費	330,272	20.9	23.2	31.2
（うち委託料）	173,451	11.0	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	1,886			
⑥ 資産減耗費	2,159			
（2）医業外費用	69,098			
（うち支払利息）	23,541	1.5	1.7	2.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	24,879			
損益 純損益	24,879			
累積欠損金	2,438,751			
経常収支比率	101.4		98.0	98.0
医業収支比率	93.5		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	8.1		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	93.2		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	2,348,238
１ 固定資産	1,852,608
（1）有形固定資産	1,851,973
（2）無形固定資産	635
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	495,630
（1）現金及び預金	227,786
（2）未収金及び未収収益	260,411
（3）貸倒引当金（△）	31,672
（4）貯蔵品	35,615
３ 繰延資産	-
負債合計	2,950,146
１ 固定負債	2,082,184
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	860,502
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	446,000
（6）引当金	775,682
（7）リース債務	-
２ 流動負債	303,997
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	84,286
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	66,973
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	139,347
（9）前受金及び前受収益	1,613
３ 繰延収益	563,965
（1）長期前受金	1,192,079
（2）長期前受金収益化累計額（△）	628,114
資本合計	-601,908
１ 資本金	1,833,235
２ 剰余金	-2,435,143
（1）資本剰余金	3,608
（2）利益剰余金	-2,438,751
負債・資本合計	2,348,238
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	601,908
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	37,943

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	高知県
市町村・組合名	本山町
病院名	嶺北中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	9,235 ㎡	指定病院の状況	救臨　へ
診療科数	10	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	55	73.8	75.9	81.1
療養	44	80.6	69.6	79.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	76.8	73.0	68.1
平均在院日数（一般病床のみ）		19.8	19.2	20.0

設立団体の状況

人口 (人)		3,573
決算規模 (千円)		4,886,179
標準財政規模 (千円)		2,151,696
財政力指数		0.15
経常収支比率 (%)		90.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.2
	将来負担比率 (%)	29.3

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	77.7
修正医業収支金額 (千円)	1,092,584

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	237,925	250,535
資本勘定繰入	110,911	110,911
計	348,836	361,446

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	4.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,470,211			
1 経常収益	1,470,211			
(1) 医業収益	1,132,256			
① 入院収益	587,009			
② 外来収益	422,104			
診療収入計	1,009,113			
③ その他医業収益	123,143			
(うち他会計負担金)	39,672			
(2) 医業外収益	337,955			
(うち国・都道府県補助金)	280			
(うち他会計補助・負担金)	210,863			
(うち長期前受金戻入)	81,200			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,518,240			
2 経常費用	1,518,240			
(1) 医業費用	1,406,998			
① 職員給与費	803,171	70.9	55.9	69.4
② 材料費	130,873	11.6	24.0	17.1
(うち薬品費)	86,885	7.7	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,484	3.4	11.1	5.8
③ 減価償却費	119,546	10.6	9.2	11.6
④ 経費	341,965	30.2	23.2	31.2
(うち委託料)	116,596	10.3	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	11,078			
⑥ 資産減耗費	365			
(2) 医業外費用	111,242			
(うち支払利息)	38,882	3.4	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-48,029			
損益 純損益	-48,029			
累積欠損金	52,271			
経常収支比率	96.8		98.0	98.0
医業収支比率	80.5		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.1		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	17.0		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	80.3		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,610,838
1 固定資産	3,130,508
(1) 有形固定資産	3,114,670
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	15,838
2 流動資産	480,330
(1) 現金及び預金	143,194
(2) 未収金及び未収収益	324,589
(3) 貸倒引当金 (△)	3,064
(4) 貯蔵品	15,611
3 繰延資産	-
負債合計	3,033,939
1 固定負債	1,963,517
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,911,847
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	51,670
(7) リース債務	-
2 流動負債	382,045
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	184,841
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,528
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	50,000
(8) 未払金及び未払費用	96,863
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	688,377
(1) 長期前受金	1,138,851
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	450,474
資本合計	576,899
1 資本金	629,170
2 剰余金	-52,271
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-52,271
負債・資本合計	3,610,838
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	高知県
市町村・組合名	いの町
病院名	いの町立国民健康保険仁淀病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	8,101 ㎡	指定病院の状況	救　災
診療科数	14	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	60	82.1	83.5	83.9
療養	40	88.3	92.8	93.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	84.6	87.2	87.8
平均在院日数（一般病床のみ）		21.5	19.1	19.7

設立団体の状況

人口 (人)		22,767
決算規模 (千円)		15,346,534
標準財政規模 (千円)		7,856,002
財政力指数		0.35
経常収支比率 (%)		91.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.6
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	75.1
修正医業収支金額 (千円)	1,145,095

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	224,171	224,171
資本勘定繰入	62,307	63,387
計	286,478	287,558

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	106.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,911,446			
1 経常収益	1,911,446			
(1) 医業収益	1,191,571			
① 入院収益	745,670			
② 外来収益	333,236			
診療収入計	1,078,906			
③ その他医業収益	112,665			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	719,875			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	177,695			
(うち長期前受金戻入)	65,752			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,046,093			
2 経常費用	2,046,093			
(1) 医業費用	1,524,173			
① 職員給与費	775,048	65.0	55.9	59.8
② 材料費	189,793	15.9	24.0	17.7
(うち薬品費)	85,239	7.2	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	99,915	8.4	11.1	8.0
③ 減価償却費	136,715	11.5	9.2	10.4
④ 経費	416,891	35.0	23.2	31.2
(うち委託料)	167,374	14.0	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	4,007			
⑥ 資産減耗費	1,719			
(2) 医業外費用	521,920			
(うち支払利息)	31,202	2.6	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-134,647			
損益 純損益	-134,647			
累積欠損金	1,265,701			
経常収支比率	93.4		98.0	96.3
医業収支比率	78.2		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	18.8		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	11.7		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	82.5		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,832,372
1 固定資産	2,904,938
(1) 有形固定資産	2,817,905
(2) 無形固定資産	748
(3) 投資その他の資産	86,285
2 流動資産	927,434
(1) 現金及び預金	355,907
(2) 未収金及び未収収益	548,811
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	22,716
3 繰延資産	-
負債合計	2,391,796
1 固定負債	1,572,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,400,573
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	171,608
(7) リース債務	-
2 流動負債	270,091
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	119,385
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	81,441
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	64,882
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	549,524
(1) 長期前受金	857,111
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	307,587
資本合計	1,440,576
1 資本金	2,625,859
2 剰余金	-1,185,283
(1) 資本剰余金	45,318
(2) 利益剰余金	-1,230,601
負債・資本合計	3,832,372
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	高知県
市町村・組合名	佐川町
病院名	高北国保病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	10,215 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	12	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	56	91.9	93.2	91.9
療養	42	93.9	95.1	93.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	92.8	94.1	92.5
平均在院日数（一般病床のみ）		20.7	21.2	21.8

設立団体の状況

人口 (人)		13,114
決算規模 (千円)		6,486,337
標準財政規模 (千円)		3,970,046
財政力指数		0.32
経常収支比率 (%)		97.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	5.1
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	82.2
修正医業収支金額 (千円)	1,245,488

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	193,399	193,524
資本勘定繰入	100,830	100,830
計	294,229	294,354

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,755,956			
１ 経常収益	1,755,882			
（1）医業収益	1,288,188			
① 入院収益	782,546			
② 外来収益	416,287			
診療収入計	1,198,833			
③ その他医業収益	89,355			
（うち他会計負担金）	42,700			
（2）医業外収益	467,694			
（うち国・都道府県補助金）	151			
（うち他会計補助・負担金）	150,824			
（うち長期前受金戻入）	88,416			
（うち資本費繰入収益）	55,240			
（3）特別利益	74			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,723,543			
２ 経常費用	1,723,267			
（1）医業費用	1,514,997			
① 職員給与費	863,025	67.0	55.9	69.4
② 材料費	184,724	14.3	24.0	17.1
（うち薬品費）	90,652	7.0	12.4	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	71,977	5.6	11.1	5.8
③ 減価償却費	194,617	15.1	9.2	11.6
④ 経費	267,249	20.7	23.2	31.2
（うち委託料）	108,168	8.4	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	2,293			
⑥ 資産減耗費	3,089			
（2）医業外費用	208,270			
（うち支払利息）	38,025	3.0	1.7	2.1
（3）特別損失	276			
損益 経常損益	32,615			
損益 純損益	32,413			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.9		98.0	98.0
医業収支比率	85.0		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.0		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	90.7		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,333,539
１ 固定資産	2,532,585
（1）有形固定資産	2,450,697
（2）無形固定資産	720
（3）投資その他の資産	81,168
２ 流動資産	800,954
（1）現金及び預金	569,640
（2）未収金及び未収収益	221,725
（3）貸倒引当金（△）	380
（4）貯蔵品	8,948
３ 繰延資産	-
負債合計	2,303,477
１ 固定負債	1,711,006
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,667,798
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	32,633
（7）リース債務	10,575
２ 流動負債	243,544
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	117,166
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	57,162
（6）リース債務	2,644
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	61,756
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	348,927
（1）長期前受金	699,923
（2）長期前受金収益化累計額（△）	350,996
資本合計	1,030,062
１ 資本金	699,546
２ 剰余金	330,516
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	330,516
負債・資本合計	3,333,539
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	高知県
市町村・組合名	梼原町
病院名	国保梼原病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	2,284 ㎡	指定病院の状況	救 臨 へ 輪
診療科数	4	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	30	73.2	68.8	66.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	73.2	68.8	66.3
平均在院日数（一般病床のみ）		15.4	14.2	15.4

設立団体の状況

人口 (人)		3,608
決算規模 (千円)		8,065,492
標準財政規模 (千円)		2,953,002
財政力指数		0.12
経常収支比率 (%)		84.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.6
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	75.2
修正医業収支金額 (千円)	397,615

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	106,266	117,209
資本勘定繰入	29,800	29,800
計	136,066	147,009

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	2.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	535,192			
1 経常収益	535,192			
(1) 医業収益	433,909			
① 入院収益	183,578			
② 外来収益	182,904			
診療収入計	366,482			
③ その他医業収益	67,427			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	101,283			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	80,915			
(うち長期前受金戻入)	12,204			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	554,681			
2 経常費用	554,681			
(1) 医業費用	529,018			
① 職員給与費	329,406	75.9	55.9	79.3
② 材料費	54,230	12.5	24.0	16.1
(うち薬品費)	33,869	7.8	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,806	3.6	11.1	5.0
③ 減価償却費	39,585	9.1	9.2	13.7
④ 経費	103,698	23.9	23.2	42.9
(うち委託料)	50,063	11.5	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	835			
⑥ 資産減耗費	1,264			
(2) 医業外費用	25,663			
(うち支払利息)	12,126	2.8	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-19,489			
損益 純損益	-19,489			
累積欠損金	9,710			
経常収支比率	96.5		98.0	95.6
医業収支比率	82.0		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	21.9		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	27.0		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	21.9		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	75.4		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,206,050
1 固定資産	640,615
(1) 有形固定資産	640,469
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	565,435
(1) 現金及び預金	494,003
(2) 未収金及び未収収益	68,329
(3) 貸倒引当金 (△)	775
(4) 貯蔵品	3,878
3 繰延資産	-
負債合計	477,629
1 固定負債	310,672
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	310,672
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	88,377
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	48,871
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,418
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	20,982
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	78,580
(1) 長期前受金	185,124
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	106,544
資本合計	728,421
1 資本金	533,131
2 剰余金	195,290
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	195,290
負債・資本合計	1,206,050
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	高知県
市町村・組合名	大月町
病院名	国保大月病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	2,103 ㎡	指定病院の状況	救　へ
診療科数	2	看護配置	１３：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	25	69.9	71.2	75.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	69.9	71.2	75.9
平均在院日数（一般病床のみ）		19.9	17.5	18.8

設立団体の状況

人口 (人)		5,095
決算規模 (千円)		4,465,105
標準財政規模 (千円)		2,692,430
財政力指数		0.16
経常収支比率 (%)		89.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.9
	将来負担比率 (%)	32.4

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	71.9
修正医業収支金額 (千円)	354,148

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	104,047	104,047
資本勘定繰入	3,360	5,953
計	107,407	110,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	62.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	503,347			
1 経常収益	503,347			
(1) 医業収益	414,667			
① 入院収益	138,145			
② 外来収益	195,778			
診療収入計	333,923			
③ その他医業収益	80,744			
(うち他会計負担金)	60,519			
(2) 医業外収益	88,680			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	43,528			
(うち長期前受金戻入)	13,290			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	502,640			
2 経常費用	502,635			
(1) 医業費用	492,634			
① 職員給与費	336,570	81.2	55.9	79.3
② 材料費	47,492	11.5	24.0	16.1
(うち薬品費)	20,486	4.9	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,268	5.1	11.1	5.0
③ 減価償却費	25,292	6.1	9.2	13.7
④ 経費	81,908	19.8	23.2	42.9
(うち委託料)	42,616	10.3	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	881			
⑥ 資産減耗費	491			
(2) 医業外費用	10,001			
(うち支払利息)	1,272	0.3	1.7	1.5
(3) 特別損失	5			
損益 経常損益	712			
損益 純損益	707			
累積欠損金	258,683			
経常収支比率	100.1		98.0	95.6
医業収支比率	84.2		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	20.7		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	25.1		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	20.7		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	79.4		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	494,265
1 固定資産	274,491
(1) 有形固定資産	274,491
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	219,774
(1) 現金及び預金	110,551
(2) 未収金及び未収収益	106,259
(3) 貸倒引当金 (△)	290
(4) 貯蔵品	3,254
3 繰延資産	-
負債合計	154,760
1 固定負債	58,475
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,475
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	46,478
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,658
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,741
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,079
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	49,807
(1) 長期前受金	125,748
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	75,941
資本合計	339,505
1 資本金	598,188
2 剰余金	-258,683
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-258,683
負債・資本合計	494,265
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	高知県
市町村・組合名	高知県・高知市病院企業団
病院名	高知医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	75,965 ㎡	指定病院の状況	救臨が感へ災地　輪
診療科数	42	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	588	80.4	80.1	85.5
療養	-	-	-	-
結核	20	5.4	4.5	6.7
精神	44	11.2	8.2	11.9
感染症	8	-	-	-
計	660	72.5	72.0	77.2
平均在院日数（一般病床のみ）		8.2	9.1	10.3

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	88.3
修正医業収支金額 (千円)	18,539,385

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,901,547			
1 経常収益	22,833,508			
(1) 医業収益	18,935,037			
① 入院収益	14,190,209			
② 外来収益	3,632,623			
診療収入計	17,822,832			
③ その他医業収益	1,112,205			
(うち他会計負担金)	395,652			
(2) 医業外収益	3,898,471			
(うち国・都道府県補助金)	373,911			
(うち他会計補助・負担金)	2,063,222			
(うち長期前受金戻入)	1,180,308			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	68,039			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,591,810			
2 経常費用	22,488,069			
(1) 医業費用	21,002,833			
① 職員給与費	9,638,548	50.9	55.9	50.2
② 材料費	5,663,283	29.9	24.0	27.7
(うち薬品費)	2,682,126	14.2	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,981,157	15.7	11.1	12.9
③ 減価償却費	1,902,341	10.0	9.2	8.3
④ 経費	3,704,997	19.6	23.2	20.7
(うち委託料)	2,448,795	12.9	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	57,233			
⑥ 資産減耗費	36,431			
(2) 医業外費用	1,485,236			
(うち支払利息)	437,447	2.3	1.7	1.5
(3) 特別損失	103,741			
損益 経常損益	345,439			
損益 純損益	309,737			
累積欠損金	9,393,712			
経常収支比率	101.5		98.0	99.7
医業収支比率	90.2		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	10.7		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	90.6		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	40,195,916
1 固定資産	28,813,022
(1) 有形固定資産	28,246,646
(2) 無形固定資産	49,297
(3) 投資その他の資産	517,079
2 流動資産	11,382,894
(1) 現金及び預金	4,392,269
(2) 未収金及び未収収益	5,735,146
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	69,410
3 繰延資産	-
負債合計	35,577,094
1 固定負債	27,695,527
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,351,635
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,343,892
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,424,798
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,415,885
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	114,300
(5) 引当金	500,232
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,311,891
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,456,769
(1) 長期前受金	7,345,119
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	4,888,350
資本合計	4,618,822
1 資本金	13,385,958
2 剰余金	-8,767,136
(1) 資本剰余金	626,576
(2) 利益剰余金	-9,393,712
負債・資本合計	40,195,916
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況

(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,435,305	2,458,874
資本勘定繰入	1,428,057	1,439,609
計	3,863,362	3,898,483

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	49.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。